



⑦ 茨城県石岡市東成井西部地区

JA出資法人の研修事業と暖簾分けによる独立支援

「取組のポイント」

- ✓ まとまった農地を借り入れてJA出資法人が新規就農希望者の研修を実施
- ✓ 研修生の就農にあたって研修農地を暖簾分け



【地区の遠景】



地区の概要

水田と畑地営農をほぼ半々とする地域で、有機栽培の研修制度など地元就農の仕組みがあったが、農業従事者の高齢化が進み、担い手不足が大きな問題となっていた。

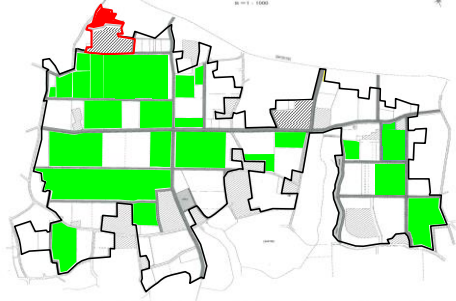
取組の内容

- ① JA出資により設立された農地所有適格法人が、地域の担い手として農地を耕作するとともに、若手農業者や新規就農希望者を受け入れて研修を実施し、地域農業の担い手を育成している。
- ② まとまった農地を長期間借り入れることで、移動時間の短縮等の効率的な研修を安定的に実施できるため、農地バンクを活用して、関係機関が地権者への説明会や貸付意向のある農地を地図化して話し合いを進め、地域役員の協力や農地バンクが書類作成することによって、円滑に農地を借り入れている。
- ③ 約2年間の研修期間を修了して研修生が独立する際には、当該法人が農地バンクから借受けていた農地の受け手を研修生に変更することで、就農農地を手当てする等の独立支援を行っており、これまでに12名の研修生を受け入れて、6名が市内で独立し、うち4名が独立にあたって地区内・地区外の研修農地を計5.7ha暖簾分けした。

取組の成果

- ✓ 集積率が
34%→56%に上昇
- ✓ 機構を活用することで**効率的・効果的な研修が可能**となった。
- ✓ 出し手の声「**JA出資法人が適正に活用**してくれるため、安心して農地を預けられた。」

R元年時点

石岡市東成井西部地区
農地計画図(案)
R1～R100

- JA出資法人(農地バンク転貸)
- 地区内で独立した新規就農者1名が営農する農地
- 地区内で暖簾分けした農地(0.2ha)
- 地域の範囲

農地バンク 活用面積	借入面積	12.7ha
	転貸面積	12.7ha
	新規集積面積	4.3ha
地区内農地面積	23.5ha	
集積面積・集積率	8.0ha(34%)	13.1ha(56%)
平均経営面積	8.0ha/経営体	13.1ha/経営体
平均団地面積	5.6ha/団地	10.4ha/団地